

ビジネス パスファインダー

データベースにおまかせ！

【第1回】

データベース席を
予約する

小牧市中央図書館4階では、新聞記事、判例、雑誌、文学など、各分野の情報を調べられるデータベース（DB）をご用意しています。ビジネスや研究だけでなく、生活情報もすぐに探せるDBを使いこなしましょう！DBをご利用の際は専用席の予約が必要です。今回は、データベース席の予約方法をご案内します。

★小牧市図書館契約データベース一覧

- ・日経テレコン
- ・官報情報検索サービス
- ・ジャパンレレッジLib
- ・ブリタニカ・オンライン・ジャパン
- ・ざっさくプラス 雑誌記事索引集成データベース
- ・中日新聞・東京新聞データベース
- ・朝日新聞クロスサーチ
- ・D1-Law.com 第一法規法情報総合データベース
- ・国立国会図書館デジタルコレクション
- 図書館向けデジタル化資料送信サービス

★WEBから予約する

① 図書館ホームページのWEB座席予約ボタンをクリックする

② 利用者カード番号とパスワードを入力する

③ 希望日・希望時間を選び、予約する

④ 予約完了！図書館でお待ちしています

★WEBからの予約取消/変更
①、②まで進んだ後、この画面から→お手続きください

★図書館の座席予約システムから予約する

今すぐ、アレを調べたい！
そんな時はここから席を予約

予約の確認・取消
予約内容の確認や
来館後の取消はこちらから

予約の確定
WEBでの予約は、当日必ず確定を行い、席番号を発行します

次回 54号は
7月1日発行予定です

■編集後記■ 中央図書館オープンから1年が経ちました。68万人以上の方にご来館いただき、当館ビジネス情報コーナーや本紙「ビジネストピックス」も多数の方にご活用いただきました。これからも紙、デジタル、どちらの良さもお伝えできる、図書館ならではの情報を発信してまいります (KK)

Business Topics

Vol. 53



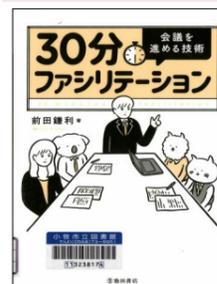
明日もがんばる！

業界小説・お仕事小説セレクション

この春に新しいお仕事、新しい生活を始められた方も多いことでしょう。目まぐるしい環境の変化に精一杯向き合う毎日。でも、そろそろ疲れを感じてきてはいませんか？

今号は、読み応えある業界小説、お仕事小説をたっぷりご紹介します。様々なお仕事事情を小説で体験したり、がんばる主人公を応援しながら、明日の仕事に向き合う活力、元気をチャージしましょう！

■新刊 PICK UP！



『30分ファシリテーション
会議を進める技術』
前田鎌利／著 池田書店
2022.2 (809.6/マ)

会議が終わり、廊下に出て一言。「何だったんだ、今の会議…」こんな言葉をつぶやいたことはありませんか？

本書によれば、現代のビジネスパーソンは生涯就労時間の4割を会議に使っているそうです。貴重な時間を無駄なく充実したものにするために、今、ファシリテーターという役割が注目されています。

ファシリテーターとはいわば会議の交通整理役。参加者の発言を促し、話の流れを整理し、認識の一致を確認し組織や参加者の活性化をはかる、リーダーに必須のスキルです。でも、リーダーになってから身につけては遅すぎる？いつから、誰が、どのように30分ファシリテーションを進めていくか、読めば納得のポイントが満載です。

予約ができる
ビジネス書新着リスト
はこちらから→



■Contents■

- 【表紙】新刊PICK UP！
- 【特集】業界小説・お仕事小説セレクション
- ・キリの理容室
- ・こちら横浜市港湾局
- みなと振興課です
- ・この世にたやすい仕事はない
- ・駒子さんは出世なんてしたくなかった
- ・CAボーイ
- ・島のエアライン
- ・鉄の骨
- ・ヒールをぬいでラーメンを
- ・ほたるいしマジカルランド
- ・本のエンドロール

（書名五十音順）
【ビジネスパスファインダー】
データベースにおまかせ！
＜第1回＞
データベース席を予約する

2022年5月1日発行
（隔月発行）
編集・発行
小牧市中央図書館
0568-73-9951

◆特集◆ 明日もがんばる！業界小説・お仕事小説セレクション

業界事情あれこれ

印刷会社



『本のエンドロール』安藤祐介／著 講談社 2018 (F/71)

印刷会社での営業職と聞いて、どんな仕事か想像がつかますか？この本は主人公の印刷会社営業部の浦本を中心に、社内の様々な部署や出版社、デザイン事務所の人々等の「本を造る側」の人たちが、様々なトラブルに見舞われながらも矜持を持って自分の仕事を全うする物語です。浦本が後半で語る「たとえ天職でなくてもいい。」の後に続く独白は、どの仕事についた人にも心に響く一文です。

公務員



『こちら横浜市港湾局みなと振興課です』

真保裕一／著 文藝春秋 2018 (F/71)

作品の舞台は実在しない横浜市の一部署、そこに配属された暁帆（あきほ）と新人の城戸坂の活躍を描きます。女性市長や議員も登場し、封印された過去が明らかになります。真保裕一氏にはこのような公務員職場の末端でうごめく人物を描く『連鎖』、『取引』などの「小役人シリーズ」があります。

理容室



『キリの理容室』上野歩／著 講談社 2018 (F/77)

年間約2万人の美容師国家試験合格者に比べ、理容師国家試験の合格者は1500人ほど。おなじみの青と赤が回るサインポールを見かける機会も少なくなりました。本作の主人公キリは、そんな、衰退産業といわれる理容業界をあえて選びました。自分が求める理想のサービスと現実との格差や両親との確執等、新米理容師キリが乗り越えなければならない壁に向きあう、諦めない姿勢に勇気づけられます。

CA



『CAボーイ』宮木あや子／著 KADOKAWA 2020 (F/717)

ホテルマンとして働いていた主人公が、ずっと夢であったパイロットになるためのステップとして、CA（キャビンアテンダント）採用試験に臨む。エンタメ要素抜群の本書は、個性豊かな登場人物たちと共に夢と現実の狭間で揺れながら、それでも夢に向かって頑張るアラサー男子の熱い日々を描いています。航空業界も併せて学べる、一石二鳥な作品です。

遊園地経営



『ほたるいしマジカルランド』寺地はるな／著 ポプラ社 2018 (F/71)

インフォメーション、花や植物の管理、アトラクションの操作に園内イベントの企画…来園者を笑顔にすべく、悩みや迷いを心に秘めて老舗遊園地で働く彼らの奮闘を描いた、心温まる物語です。遊園地を運営していく上で必要な仕事の裏側が垣間見られます。

お仕事事情あれこれ

脱サラ



『ヒールをぬいでラーメンを』栗山圭介／[著] 角川春樹事務所 2019 (F/71)

恋人だった大手ベンチャー企業社長に騙され振られ、職も失くした主人公。なんとか一矢報いたい女の意地で選んだ手段は、自慢の味覚を活かしたラーメン作り。通い始めた「ラーメン大学」同期生のそれぞれの事情、修行先のラーメン店での人間関係などを隠し味に、ヒールをぬいで業界に体当たりした主人公が掴んだ味と答えがジワリと沁みてきます。

出世と家庭

『駒子さんは出世なんてしたくなかった』

碧野圭／著 キノブックス 2018 (F/77)

出版社で働く42歳の駒子さんは専業主夫の夫と高校生の息子との平穏な生活に、突然の昇進辞令が出て・・・

家事・子育て・介護。どれも大切な仕事です。限られた時間の中で報酬のある仕事とどう折り合いをつけて行くか。家族とどう協力して進んで行くのか。常に誰に対しても公平で、正攻法で向かう駒子さんですが、出世したことにより次々と課題が見えてきます。ワークライフバランスを実現させるために葛藤する姿が共感できるのではないのでしょうか

転職と天職



『この世にたやすい仕事はない』津村記久子／著 日本経済新聞出版社 2015 (F/71)

主人公は前職で燃え尽きてしまった心のリハビリになるような、新たな仕事を探しに職業安定所に足を運ぶ。そこで担当になった女性に1年に5つもの仕事を次々の紹介してもらうことになり、どの仕事も一風変わったものばかりだが・・・。

自分の使命を一所懸命に果たそうとする主人公が、自分自身と重なる方も多いのではないのでしょうか。働く意味や、生きる意味も主人公と共に考えさせられる1冊です。

500ページ越えの本格派

実話の小説化



『島のエアライン 上・下』黒木亮／著 毎日新聞出版 2018 (F/71)

この本は地方自治体が独力で運営する日本初の定期航空会社「天草エアライン」の設立をめぐる関係者の苦闘を追ったノンフィクション・ノベル（実録小説）です。著者の黒木亮氏は、社会問題をテーマにした小説を発表してきましたが、すべて実名、実在の人物を描くには綿密な取材が欠かせません。その点でも大変興味深い作品です。

不朽の名作



『鉄の骨』池井戸潤／著 講談社 2009 (F/71)

『下町ロケット』や『半沢直樹シリーズ』でおなじみ池井戸潤さんの骨太ゼネコン業界小説。タイトルでもある「鉄の骨」は巨大建築を支える大切な核心ですが、鉄は熱で熔け、人の手で形を変えられるものでもあります。自分も含め、人、立場それぞれの「正しさ」の形を考えずにはいられない作品です。